

京都岡本記念病院では、以下の臨床研究を実施しております

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

承認番号	2024-04
研究課題	HER2 陽性乳がんにおける周術期化学療法を対象とした味覚障害の発現状況の調査
研究責任者名・所属	川島 悠吾（薬剤部）
研究対象となる方	当院で 2019 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日に、周術期化学療法として抗 HER2+細胞障害性抗がん薬の併用レジメンを 1 回以上投与された方
研究期間	(倫理委員会承認日)～2024 年 3 月 3 日

【研究の目的】

化学療法後の味覚障害は比較的早期に改善すると報告されているが、遷延する症例を経験します。抗 HER2 薬併用化学療法では味覚障害が従来の化学療法より QOL に影響を与えやすいとする報告はありますが、先行研究は少なく見知が限られています。本調査は、抗 HER2+細胞障害性抗がん薬の併用レジメンによる治療を受けた患者さんを対象とした味覚障害の発現状況の調査を行い、味覚障害の状況を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

当院において 2019 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日で、周術期化学療法を受けた HER2 陽性乳がん患者で、抗 HER2+細胞障害性抗がん薬の併用レジメンを 1 回以上投与していた方を対象とし、レジメン、味覚障害の有無とその経過、カルテ情報を用いて後方視的に調査します。

【利用するカルテ情報】

年齢、性別、体表面積、抗がん剤の種類・レジメン、投与回数、投与期間、味覚障害の有無・改善の有無、末梢神経障害の有無・改善の有無、喫煙歴、併存疾患、併用薬

【個人情報の取扱いについて】

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下へご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞

京都岡本記念病院 臨床研究センター

☎ 0774-48-5500(病院代表)

(対応可能時間 9 時～17 時 但し土・日、祝日、年末年始は除きます)